

nishinomiya にしフोट。 photo

このコーナーでは、西宮に関するイベントや出来事などを写真で紹介いたします



太鼓の迫力に興奮

7月22日、市民会館アミティホールで「西宮太鼓フェスティバル」が開かれました。西宮を中心に活動しているアマチュア太鼓グループと和太鼓プロ集団「和太鼓松村組」が出演。フィナーレでは、松村組と参加団体による合同演奏が行われました。迫力ある太鼓の音色が響き渡り、会場は感動と興奮の熱気に包まれていました。



プロの指導で人形劇学ぶ

7月28日～8月8日に、市民交流センターなどで「人形劇子ども講座」が開かれました。子どもたちは、プロ劇団の指導を受けながら、いきいきした表情で、自分たちで作った人形を使って劇の練習に励んでいました。この練習の成果は、8月11日(土)の人形劇定期公演で披露されます。

交通ルールを楽しく学ぶ



7月31日、塩瀬公民館で「交通安全 ふれあいパーク」が開かれました。会場は、おまわりさんの制服を着て記念撮影をするコーナーや大道芸などでにぎわいました。また、クイズやビデオなどを通して、交通ルールやマナーの大切さを楽しく学んでいました。



古新聞でつくるオリジナルエコバッグ

7月31日、消費生活センターで、夏休み親子消費者教室「新聞紙でエコバッグをつくろう」が開かれました。市内の小学生と保護者が、各自持ち込んだ古新聞を使って自分だけのオリジナルエコバッグ作りに挑戦。親子で協力しながら、ひとつひとつ丁寧に作業していきます。参加者は、約1時間かけて作ったエコバッグに満足そうな様子でした。



にしのみや 歴史見聞録

越水城 (桜谷町)

このコーナーでは、西宮の歴史スポットを紹介いたします

大社小学校敷地東南端に「越水城跡」と刻まれた石碑が建っています。越水城は1519年、瓦林正頼が築城したといわれています。堀・壁・土居・矢倉を備えた本格的な城郭建築で、場所は現在のニテコ池の南東に位置し、その敷地は南北に200m、

本格的な城郭建築

東西100mと推定されています。応仁の乱に始まる戦国時代初期、細川家(澄元と高国)の内紛が起こり、初代城主・瓦林正頼は高国方につきます。正頼は四国から上洛してきた澄元に破れ、堺に亡命。その後、澄元と内通していたという嫌疑をかけられ切腹することになりました。



※アクセス…阪急電車「夙川駅」から東北へ徒歩約15分

正頼の死後、澄元の家臣と瓦林氏の一族の城を奪い合う攻防が繰り返されました。正頼の後の越水城は、当時、13代将軍・足利義輝を追放して近畿地方をおさえた三好

長慶が入城したことで、よく知られています。その後、織田信長入洛により、越水城は歴史の表舞台から姿を消すことになりました。

現在、城を思い起こさせるものは石碑しかありません。ただ、越水の由来となった「小清水」の名が示すとおり、越水の井戸水が、越水城を語り継ぐものとして湧き続けています。

ピックアップ ニュース

PICK UP NEWS

ポローニャ国際絵本原画展 豊かな物語の世界 8月18日から 西宮市大谷記念美術館

毎年、多くの人でにぎわう「2012イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」を、今年も西宮市大谷記念美術館で開催します。



今年60カ国2685人が応募し、その中から選ばれた日本人7人を含む19カ国72人の作家の入選作品を展示します。特別展示では、2010年に新設された「ポローニャISM出版賞」受賞者ページ・チューさんの受賞作品の原画を展示します。そのほかにも、過去のポローニャ展入選作の原画なども紹介します。問合せは西宮市大谷記念美術館(0798・33・0164)へ。

ポローニャ国際絵本原画展とまわる ギャラリーさんぽ

西宮ギャラリー連絡会は、市との協働事業でイタリア・ポローニャ国際絵本原画展(8月18日～9月23日)の開催にあわせ、「ギャラリーさんぽ」を開催します。市内の民間ギャラリーで入選作家の個展やグループ展などを行います。日程など詳しくは西宮ギャラリー連絡会(0798・61・6131...galerie6c内)へ問合せを【会場】アトリエ風姿花伝、R&P GALLERY、ギャラリー甲風画苑、サコダアートギャラリー、ギャラリーSHIMA、ギャラリーアライ、ギャラリーわびすけ、galerie6c、西宮阪急4階、ブックファースト西宮ガーデンズ店

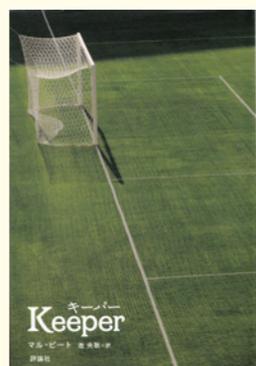
月24・31日、9月7・14・21日(いずれも金曜)は午後7時まで開館(入館は6時半まで)。水曜休館 ※次の日程でサイン会を開催。申込不要。要入館料▽今井彩乃サイン会:9月1日(土)の午前11時～正午▽たかいよしかずサイン会:9月9日(日)の午後2時～3時 【入館料】800円(高校生・大学生600円、小学生400円、65歳以上の市内在住者400円 ※託児あり。日程は8月30日(木)、9月3日(月)・6日(木)・10日(月)・13日(木)の午前10時半、午後1時半から。対象は生後6カ月～3歳。無料。定員各15人。申込は8月20日午前9時から電話で西宮市大谷記念美術館へ。先着順

図書館便り

このコーナーでは、司書が大人にもお薦めの児童書を紹介いたします

Keeper(キーパー)

【内容紹介】 念願のサッカー・ワールドカップ優勝をつかみ取ったエル・ガトー。どのようにして史上最強のゴールキーパーは生まれたのか、興奮冷めやらぬ記者のインタビューに、語り始めた彼の物語は意外なものでした。南米奥地のジャングルの町、少年は一度はサッカーをあきらめます。することがなくなった彼は森に入り、そこでゴールポストのある空き地と1人のゴールキーパーに出会うのです。 静かな語りの中にサッカーの面白さを感じられ、最後に明かされる秘密が悲しい幽霊物語。 【問合せ】 中央図書館 (0798・33・0189)



マル・ピート 著 池央耿 訳 評論社

公共の場所での 歩きたばこはやめましょう